

優秀賞

鹿児島県中種子町立納官小学校

「納官小・ 校区合同大運動会」

学校紹介

本校は種子島のほぼ中央に位置する、全校児童19名の極小規模校である。豊かな自然に囲まれ、ウミガメの保護活動を行っている。校区民との結びつきも強く、運動会は校区と合同で実施している。

取組概要等

【取組概要】

上学年と下学年がペアになり、リレーゾーンでは、ボール運び・ラグビーボールを用いたドリブル、それ以外のトラックでは、片方がアイマスクを着用し、もう片方が誘導するリレー競技を行い、競技名を「納官キッズオリンピック・パラリンピック」と称した。

【取組のねらい】

運動会なので競争ごとではあるが、それと同時に、自他を思いやる気持ちの育成、そしてパラリンピアンを感じていることを体感して欲しいと考えこのような形で実施した。

【創意工夫した点】

本校は毎年運動会にて「納官キッズオリンピック」と称し、子供たちが考えた障がい物競走を行ってきた。今年度はオリンピックに限らず、パラリンピックにも注目して欲しいと願い、名称を「納官キッズオリンピック・パラリンピック」と変更し実施した。

【取組結果や効果】

アイマスクをつけて走ることの恐怖・不安とともに、ペアへの信頼を強く感じる事ができたという意見が出された。また、パラリンピックの映像を見て、改めてパラリンピアン of 凄さを感じていた。

【来年度以降の展開予定など】

来年度もオリンピック・パラリンピックの要素を取り入れた、体験・競争をさせたい。また、練習によって技能の向上が図れるような競技内容にしていきたい。

プログラムの様子



最初は、下学年がアイマスクを付け、上学年がガイド役になりスタートしました。（半周ずつ）



リレーゾーンでは、アイマスクをとり、ラグビーボールをドリブルして次のペアにつながります。



もう一方のリレーゾーンでは、棒でボールをはさみ、次のペアにつながります。



後半は、上学年がアイマスクを着用し、下学年がガイド役になりゴールを目指しました。

東京2020アスリート委員会からのコメント

アイマスクを着用したり、ラグビーボールでドリブルをしながらリレーを行うなど、オリンピック・パラリンピックの要素を入れた興味深いプログラムを考案した点が素晴らしい取組でした。パラリンピアンが感じていることを体感するだけでなく、相手を思いやる気持ちが芽生えている点も素晴らしいかったです。

受賞のコメント

子どもたちの関心意欲を高めるため、練習前にパラリンピックの画像などを見せました。競技内容について子どもたちも考え、発言し、練習にも進んで取り組んでいました。この度の受賞は子どもたちの励みにもなります。ありがとうございました。